

奈良県立医科大学附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

下記の概要についてご確認いただき、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、情報を用いませんので、以下の「問合せ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、奈良県立医科大学学長の許可を得て行います。

① 研究課題名	肝内胆管癌における切除断端距離についての後方視的検討		
② 研究期間	学長許可日から 2024年12月31日		
③ 対象患者	対象期間中に当院で肝門部胆管癌に対する手術を受けられた患者さん		
④ 対象期間	1998年4月1日～2021年3月31日		
⑤ 研究機関の名称	奈良県立医科大学 消化器・総合外科		
⑥ 研究責任者	氏名	土井 駿介	所属 奈良県立医科大学 消化器・総合外科
⑦ 使用する情報等	カルテより患者さんの年齢、性別、既往歴、腫瘍径、腫瘍個数、腫瘍マーカー、術式、病理検査結果、生存期間などを収集する。		
⑧ 研究の概要	<p>肝内胆管癌は原発性肝癌のうち約5%を占める比較的稀な癌ですが、近年世界的に罹患率が増加傾向にあります。外科切除が唯一の根治的治療法ですが、切除後の5年生存率は30%前後とされており、その治療成績は十分であるとは言い難い状況です。本研究では、肝内胆管癌に対して手術を施行した患者さんを対象として、<u>切除断端距離</u>と術後生存期間との関連を検討し、予後因子、再発形式についても明らかにすることで、治療成績の向上に寄与する知見を得ることを目的とします。</p> <p>カルテより患者さんの年齢、性別、既往歴、腫瘍径、腫瘍個数、腫瘍マーカー、術式、病理検査結果、生存期間などの情報を収集します。これらの情報から<u>切除断端距離</u>が予後や再発形式にどのように影響しているのかを解明します。</p>		
⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2021年10月6日	
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下⑬の問い合わせ先・相談窓口にご連絡ください。		
⑪ 結果の公表	学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。		

⑫ 個人情報の取扱い	カルテ ID や氏名などの個人情報を研究用 ID に置きかえて使用するため、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。カルテ ID と研究 ID の対応表は厳重に研究責任者において管理されます。研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。		
⑬ 問い合わせ先・相談窓口	奈良県立医科大学 消化器・総合外科 担当者：土井 駿介		
	電話	0744-22-3051 (内線 66384)	FAX 0744-24-6866
	Mail	raoyue8@naramed-u. ac. jp	